

令和8年度秋田大学大学院医学系研究科
医科学専攻（修士課程）入学試験
（1回目）

英 語

令和7年9月2日（火）（10：00～11：40）

試験終了後、解答用紙のみ提出してください。

監督者の指示があるまで、問題を開かないでください。

問題用紙 3枚
解答用紙 3枚

I 以下の文章を読んで問いに答えなさい。

(本文省略)

(本文省略)

(本文省略)

<出典：Rachel Fairbank. “Can you trust your gut? The pros (and cons) of intuition—according to science” (2025). National Geographic Society,一部改変>

問1 次の2つの問いについて、本文を踏まえて、それぞれ日本語100字以内で答えなさい。

- (1) 「直感の定義」と比べて、従来の直感観とどう異なるか。
- (2) 直感の利用が誤りにつながる「内部要因」と「外部要因」について。

問2 筆者の主張を整理し、直感の「有用性」と「注意点」について、日本語150字以内で答えなさい。

問3 あなた自身の専門分野、または学修・研究・実務経験において、「直感」と「分析的判断」のどちらが意思決定の場面としてより適切であると考えられるか、例を1つ挙げ、その理由を本文の内容や考え方を踏まえつつ、日本語250字以内で述べなさい。

令和8年度秋田大学大学院医学系研究科
医科学専攻（修士課程）入学試験（1回目）

英語

解答・解答例，配点

問1 次の2つの問いについて，本文を踏まえて，それぞれ日本語100字以内で答えなさい。

- (1) 「直感の定義」と比べて，従来の直感観とどう異なるか。
- (2) 直感の利用が誤りにつながる「内部要因」と「外部要因」について。

配点：30点

解答例：(1) 筆者は直感を「無意識的な情報に基づく学習された判断」と定義し，従来の神秘的・本能的な直感とは異なり，経験に裏打ちされた合理的プロセスと捉えている。

- ・「無意識的」「経験に基づく」「学習された判断」など（6点）
- ・「神秘的」「本能的」「非合理的」との違いを明示（6点）
- ・表現の自然さ（3点）

(2) 内部要因としては，不安や高揚といった強い感情が直感を妨げることが挙げられる。外部要因としては，専門外の分野や慣れない環境での判断が誤りにつながるとされる。

- ・感情（不安・幸福感など）により直感が鈍る（6点）
- ・慣れない環境，専門外での判断，情報不足など（6点）
- ・表現の明瞭さ（3点）

問2 筆者の主張を整理し，直感の「有用性」と「注意点」について，日本語150字以内でまとめなさい。

配点：30点

解答例：有用性は，直感が，情報が不完全で時間に制約のある状況において，経験に基づいて迅速かつ適切な判断を可能にする点であり，注意点は，直感が，強い感情や慣れない環境，専門性の欠如により誤った判断を導くリスクがあるため，適切な条件下で用いるべきである点。

- ・有用性：「曖昧な情報・時間制約下で迅速な判断」「経験に基づく」など (15点)
- ・注意点：「感情・専門性・環境の影響」「誤判断のリスク」など (15点)

問3 あなた自身の専門分野，または学修・研究・実務経験において，「直感」と「分析的判断」のどちらが意思決定の場面としてより適切であると考えられるか，例を1つ挙げ，その理由を本文の内容や考え方を踏まえつつ，日本語 250 字以内で述べなさい。

配点：40点

解答例：実験実習中，予想外のコロニー発育パターンを見て，私は直感的に「培地の pH がずれているのでは」と感じた。限られた時間内で原因を探る必要があったため，詳細な条件検討よりも，過去の経験に基づいて pH メーターを優先的に確認したところ，計測誤差が判明し問題を解決できた。このように，時間が限られ情報が曖昧な状況では，直感が効率的な判断を導く場合がある。ただし，それが自分の経験に裏打ちされていることが前提であり，常に分析による確認が必要であると考え。

(文字数：約 240 字)

- ・実験・調査・実習などの現実的で分野に合った内容 (10点)
- ・「異常に気づいた」「なんとなく違和感」など表現 (5点)
- ・「要因を切り分けた」「検証で裏付けた」などの論理的工程 (10点)
- ・直感はあるが分析が必要／使い分けが重要という本文主張との一致 (10点)
- ・文章の構成，導入，展開，結論。誤字。脱字 (5点)